

あるものをないとは言えない

森友学園では、大阪維新と安倍首相の意向に従い、国有地をただ同然で払い下げた記録があるのに、消去したとして説明を拒否しています。加計学園では、安倍首相がお友達のために、100億近い資金提供を付けて大学の設置を認めたことを示す書類やメールがあるのに、調査もしない説明もしない態度をとり続けています。どちらも当事者である籠池氏や文科省の職員が文書の存在を認め、安倍首相による政治や税金の私物化の実態を告発しています。

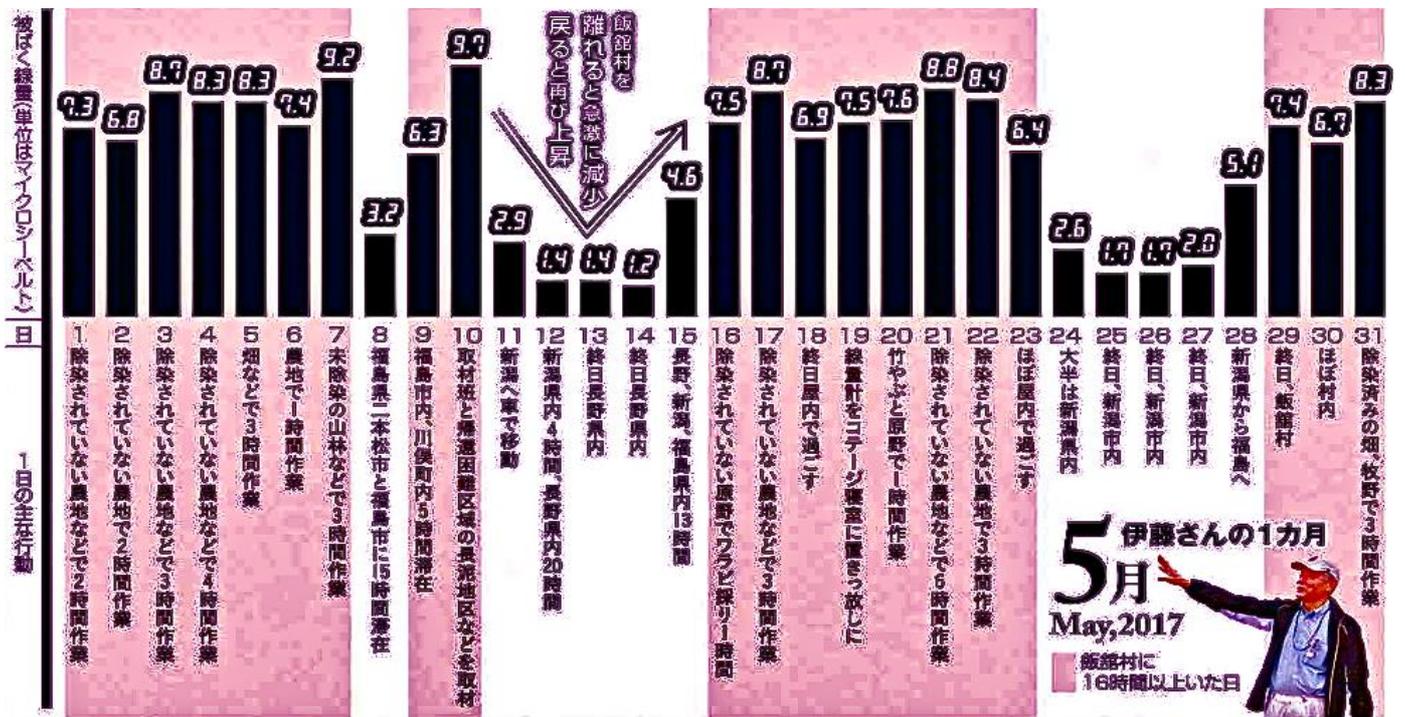
国民の声を無視し、政治の私物化と暴走を繰り返し、原発再稼働や戦争法の強行、さらには共謀罪まで強行しようとする安倍政治を許すことはできません。

力を合わせて政治を変えましょう。市民の共同で、憲法を守り、いかす立憲野党の共同を支え、安倍政権から平和と国民主権、基本的人権を取り戻しましょう。



避難指示を解除しても放射線被曝の危険があることをないとは言えない

東電福島第一原発事故の避難指示が大部分で解除された福島県飯館村で暮らす伊藤さん(73)は毎日、胸ポケットに線量計を入れ記録し続けている。1日の大半(16時間以上)を村内で過ごした日、それ以外の日に色分けすると、被ばく線量の違いは明確。新潟にいた日は1μSv強なのに対し、村で屋外作業をした日などは8μSvを超えることが多い。



年間被ばく量の内訳をみると...

	村中心の日 (194日)	それ以外の日 (165日)
1日平均	6.6 マイクロシーベルト	2.9 マイクロシーベルト
1年で推計すると ※一般人の年間被ばく線量限度は1ミリシーベルト	2.4 ミリシーベルト	1.1 ミリシーベルト

村内中心パターンの年間被ばく線量を平均値から推計すると、一般人の年間限度値(1mSv)の2.4倍となった。(東京新聞より)

ちなみに、大阪府全域21測定箇所の本日正午の測定値はいずれも0.05μSv/hに近い値だった。

放射線モニタリング情報(原子力規制委員会)より

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/index.html>